



牡エルフとタケル

「牡エルフの乳！」

「るか！」

「ちゅぽ」

「はーん、おっぱい大好きな
おっぱいっ♡」

「トロ〜ん♡」

「睡う眠ないでして
エルド様がドス
ビュッ」

「ん」



今帰った

タケル居るか！

はっ！はい！ルルト様！

お帰りなさいませ！

ムッ

ムッ

ムッ

ムッ

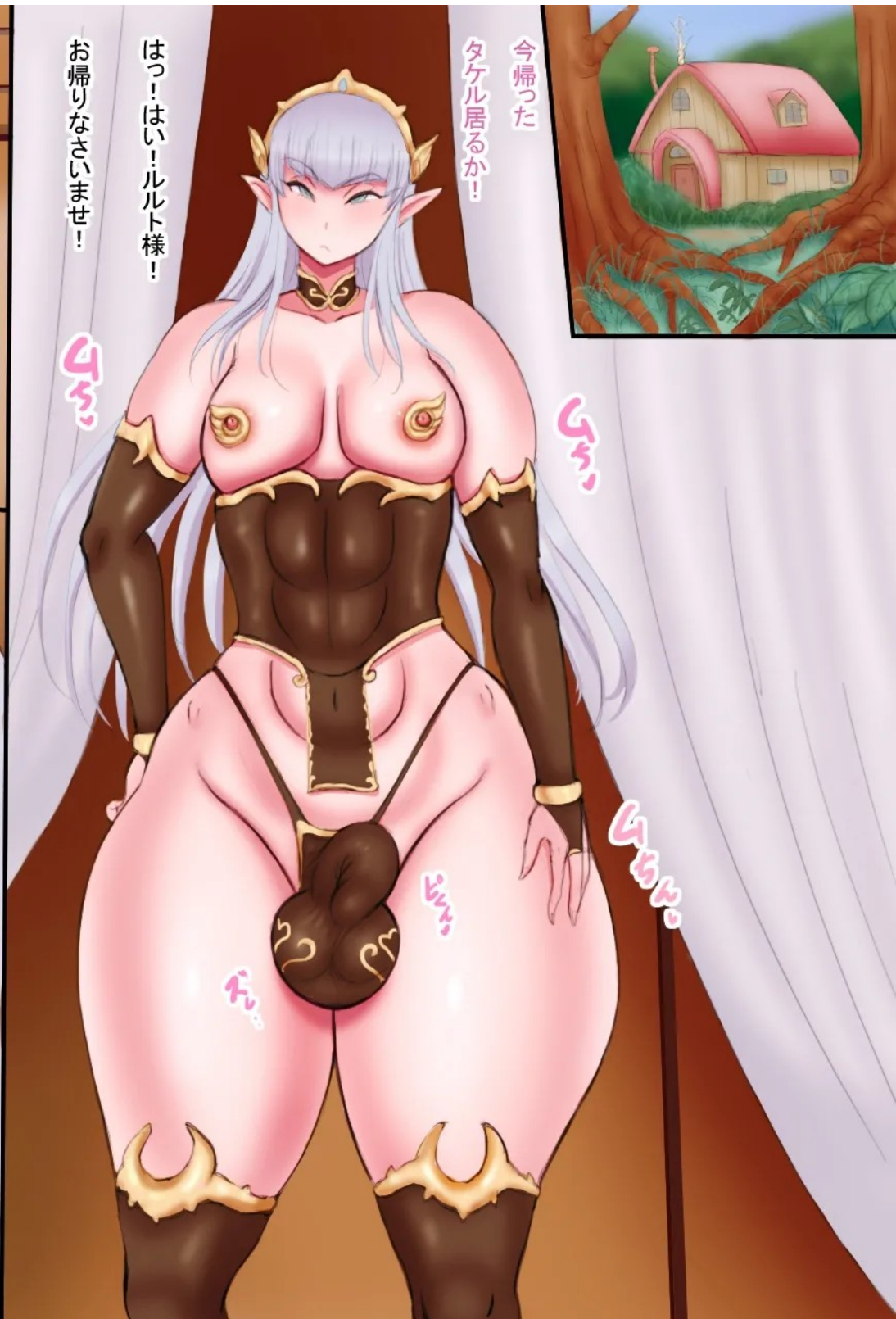
ムッ

……フン……ヒューマン

お前の処分は
私に任された

それでどうでした？
エルフの森会議は？

俺……この森に居ていいんですか？



この森に迷い込んだ
お前を拾ったのは私だ

本来この森にヒューマンの滞在は認められないが
戦士長である私が責任を持つて
お前を使役することで滞在は認められた

……いいか
今日からお前は
私の下郎だ

こき使つてやるから
覚悟をしどけ

……そうですか……これからもルルト様と
暮らせるんですね……

ギュー——ム

逃げ出したいのなら今の内だぞヒューマン

ぐちん

ぐちん

ぐちん

グイゅん

グイゅん

ぐちん

ぐちん

勿論！全身全霊を込めてお仕えするに
決まってるじゃないですか！

ムギッ

ヒッ！

ちよ！
お前！

ほおおお♡

そ・そこを
コリコリさせるな！

私の金玉から手を放せ~~~~

くっくっく
エルフの戦士の金玉を
弄ぶなあー

ビュッ
ビュッ

ほおおおおお~~~~♡

だってこのデカケツですよ？デカケツ！
男の尻とは思えませんよ！まったく！

つぎ
つぎ

ビュッ

ト〜ム♡

貴様という奴は……

何度も何度も私の金玉を……

キッ

ハッ
ハッ

貴様を私の下郎であろう！
こんなことをして
ただですむと思うな！

えいっわかつてますよ
俺はこのエルフの森で
一番のムチムチ牡エルフを
嫁にする為に
来たんですから

な？？？
嫁？？？

まさか私を？？

んほおお♡

ドゥー

そっですよ
ハイ一発めえ



知ってますよ！エルフは男同士でも子を作るんですよ！
数百年間隔で金玉が受精して子が宿るって
肥大化したオチンポから子を捻り出すんですよ！やゝ楽しみだな！

キッ！
私がお前如きの子を産むだこ？
ヒューマンの分際で！

うひょ！牡エルフの乳！

よせ！

なっ！

男の乳首で遊ぶな！

あっ♡アヒ♡



やめろお！

戦士長の乳首でえゝゝゝ

あゝ

んんん

きゅん！
きゅん！
きゅん！

きゅん！
きゅん！
きゅん！



んあ~~~~ん

き・貴様!!

吸う気なのか?
私の乳首を???

悪い事は言わん
止めるのだ

人種がエルフの乳を飲めば
寿命が延びるのだぞ?

へたに寿命が延びても
苦しむことに成るのだぞ!

だから……あああ……

ドキ
ドキ

ズン
ズン

ビク
ビク

ビク

ビク

ビク
ビク





エルフの乳は一滴で寿命が一年は延びる貴重品なのは知ってますよ！

その中でも牡エルフの乳はさらに貴重で一滴で五年は寿命を伸ばすと言われていることも！

まさに俺が必要としているのがこの乳ですよ！

によほおおおおお！

これを毎日飲めばルルト様と添い遂げられるって訳ですよ！

おまけに牡エルフの精液は不老の効果が有るって聞いてますよ！

おおおおお！

貴様……本気で私と添い遂げる気か？……

ヒューマンの分際でえええええ！





さてと

きやあああ！

じゃ〜人種とエルフ族の愛情を確かめ合いましようか〜
二人の愛の巣で

わわ
わわ

しっ
しないからな！

今日は絶対に貴様と
ホモセックスなんてしないからな！

あわ

あわ

グフフ...

やつ

わわ
わわ

ちゅ

んちゅっ

んっ♡

ぐわん

わわ

わわ

それでは
ルルト様のプリプリなおちんぼミルクを頂きますねゝ

フーッ

男のくせに男根に喰らい付くなど
汚らしい事をよく平気で出来るな貴様
これだからヒューマンは野蛮で下等なのだ

恥を知れ！

ビキ
ビキ

ビキ
ビキ

パ
カ♡



ふがいまふようも「も」

ルルトふあまのひんぽ ぶっばはははははは
だからできるんでふよう

ん~~~~~♡

知知

おっ♡ おおおおおお.....♡
喰らい付かれてる.....エルフの森最強の男のモノを♡





又ホー牡エルフの尿道ー

シギギギギ

ひゅーおおー♡

貴様ー牡エルフの尿道を♡

執念深くホジるなあああ♡

ンホお♡

おっ♡オホオオ♡

いくら私でも尿道は鍛えてないのだぞおお♡

んんっまあ

んまああー

ぐわ
ぐわ

じゅわん



ガアアアアアアアアアア

きやああああ

ガッ
じっ

ドクン

ぐんぐん

ドクン

うん
うん

んんん

んんん

んん
んん

ンホオオオオ

キヒヒヒヒヒヒヒヒヒヒ

ぐんぐん

♡

♡
♡
♡
♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

♡

くっ……卑劣な奴目！

金玉を責められれば
流石の私でも抵抗出来ないではないか！

思えばこの森にも迷い込んだ
お前を保護してやった夜も
私の寝床に忍び込んで
あんなことを……

朝まで二人で愛しましたよねー
ルルト様の喘ぎ声
可愛かったなー

うっ うるさい！黙れ！

んっ

くねん

ゲリゅん

んんん

んんん

んんん



まーまーそう怒らずに
でも怒ってるルルト様も
可愛いなー

誰が可愛いだ！
そんなこと言われて
私が嬉じとも思ってたか！

って おい！

私のお尻を叩くんじゃない！

やつ やめないか！

んっ

グッ

ちゅ

私を誰だと思ってる！
屈強な牡エルフの戦士を束ねる戦士長だぞ！

軽々しく尻をたたくんじやない！

んっ

んっ

んっ

ちゅ

パちん

んっ

んっ

んっ





おりゃ おりゃ

デカケツ
牡エルフ様の
ケツ振りダンスじゃ

バチ

貴様ああー
ヒューマンごときが！
高貴な牡エルフの尻を
叩くなど

許されぬ行為なのだぞ！

やめないか！

んっ♡

止めるのだ！

あああ♡

やめ…

んっ♡

おのれええ♡

おのれええ♡

キイイイイ♡

んっ♡

グッ

グッグッ

グッ

グッ

グッ

グッグッ

えゝまたまたあゝ素直じゃないなゝ
エロ牡ホモエルフのくせにいゝ



黙れええええええ！

私は断じてホモではないいいい♡

だから お：お前の妻になど成らぬからなあああ♡♡♡

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んおおおおお♡
べ：別に…お前が
嫌いなわけでは…
なら俺と添い遂げてよ！

おおおお♡

おほお 

困るのだ…

戦士長の私が
これから
数千年も…
こんな快楽を

ンホオオオオオオ

ホモ穴が喜ぶことを
するなああああ

ンホオオオウ♡

ヒ
ス
ス
ス
ス
ス
ス
ス

♡

もー俺は戦士のルルトさんも好きだけど

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

ぱん

普段の可愛いルルトさんが好きなんだよ！

こんなエロボディの
ドスケベ牡エルフが
大好きだああああ！

はあああああ♡

とろけてりゅ最中に
そんな事を
言うなああああ

もっとオチンポごじごじ扱いてえええ♡

私だつて！

私だつてタケルのこと♡♡♡♡

ぱん
ぱん

ぐんぐん

ぐんぐん



好きいいー♡

好き♡

好きいいー♡

タケルのことが♡

大好きいいいい♡

ヒューヒュー叩いて叩いてっ♡

巨尻を叩いてータケルンホオオオオオ♡♡♡♡

ドクン
ドクン

ドクン

きゅん♡



タケルうううう
きてええええ♡

きてえええええ♡

ンホオオオオ♡

だってだってホントはオチンポ大好きな
ホモエルフでバレルの
嫌だっだんだもおっさん♡

アヘ♡

タケル
嫌わない？
こんな
ホモエルフでも
添い遂げられる？

ようやく素直に成ったんだね
ルルト様♡

ぐくん、
ぐくん

ハサ

ハサ

カッパ

ハサ

ハサ

嫌う訳ないでしょっつかバレルだよ
ルルト様がドスケベホモエルフだって

いやああっさん♡おおお♡ホモイキイ♡



た：タケルう！
さつきのソリは違うからな！
ちよつとハイに成つただけだからな！
忘れろいいな！

ハイハイ……え？
つてことは
俺と添い遂げるつても？

それはない！

約束だからな
牡エルフの戦士長として
約束を破る様な
恥知らずな事は出来ない

お：お前とけつこ……ん…

添い遂げてやる！

感謝するのだぞ！

わくわく やったー

牡エルフとトスケベ婚だー

キィッ

ギューッ

ビクッ

キュー

グリゅん♡

グリゅん

グリゅん♡

いゅ、いゅ、

いゅ、いゅ、

フン♡嬉しそうな顔しておって
どれだけ私のことが好きなのだタケルは？♡





ほっ♡
ほっ♡
はあああああ♡
タケル♡
赤ちゃんが欲しいのなら
私はいつでも受精準備は
出来るから...♡

んんん？あと五百年は
三人の時間を楽しみたいかなー

そっか...それもそうだな♡
オオオオオオ♡ホモ穴もっどゴリゴリ...じでえ♡
ハイハイ♡牡エルフ妻様♡

あとがき

このたびはサークル暁創圏CG集[牡エルフとタケル]をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
この作品が少しでもお役に立てれば幸いです。

今回はムチムチ牡エルフを墮とす為にエルフの森にやって来たタケルのラブラブホモセ話です

タケルは異世界召喚者って設定が有るのですが
唯一のスキルが牡墮としとゆう...

いつか機会が有ればその話も描きたいですね
以前描いた牝侍も

それでは

サークル暁創圏 あかつき

2020/08/24

ご意見、ご感想など御座いましたら
下記のアドレスまでおねがいします

AKATUKI@PLUM.PLALA.OR.JP

